

松原市教育委員会 9月定例会 議事録

1. 日 時 令和2年9月2日(水) 午後3時00分

2. 場 所 松原市役所 301会議室

3. 付議事件等

(1) 議 案 第33号 令和2年度松原市一般会計補正予算(第7号)について

出席委員 美濃教育長 栗崎教育委員 田中教育委員 有馬教育委員 和田教育委員
佐野教育委員

事務局 伊藤教育総務部長 横田学校教育部長 坂野市民協働部長 中瀬福祉部長
田中教育総務部次長兼文化財課長 浦井教育総務部副理事
岡林学校教育部次長
北野市民協働部次長 手束市民協働部副理事兼いきがい学習課長
小玉福祉部次長 中谷子ども未来室長
宮本教育政策課長 田中教育総務課長 幸教職員課長 森教育推進課長
前崎地域教育課長 矢野教育研修センター長 吉田福祉部参事

美濃教育長

それでは、会議に入りたいと思います。

ただいまの出席委員は5名、私を含めまして定足数に達しておりますので、会議は成立いたしております。

これより、9月定例教育委員会を開催いたします。

なお、小川副理事が欠席との届出がございましたので、御報告いたします。

8月定例会の会議録につきましては、まだ出来上がっておりませんので、次回定例教育委員会でお諮りしたいと思います。

次に、本日の会議録の署名委員を指名いたします。委員会会議規則第17条第2項の規定により、栗崎委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

まず初めに、教育長報告を行います。お手元の資料に基づき報告をさせていただきます。

8月20日ですが、第24回松原市新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開かれ、市内の状況、大阪府の動きについて確認をいたしました。

その中で、感染防止宣言ステッカー、大阪コロナ追跡システム、COCO Aという厚労省の接触確認アプリについて、積極的に登録、適用するよう周知兼勧奨していくようにとのことございました。

また、8月21日には大阪府都市教育長協議会が開催され、出席してまいりました。7月に行われた研修会に続きまして、国や大阪府に提出する予算要望についての議論がなされたところです。

また、8月26日、令和2年松原市議会第1回臨時会が開かれ、一般会計補正予算について議論がなされました。教育委員会関係では、小中学校における新型コロナウイルス感染症予防に係る経費や、修学旅行に係る補助金について承認されたところです。

以上、御報告とさせていただきます。

ただいまの件について、何か御意見、御質問ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、議事に入る前に、新型コロナウイルス感染症対策の実施による小中学校の現在の状況について、事務局から報告をお願いいたします。

横田学校教育
部長

それでは、前回の教育委員会以降の小中学校の現状を報告いたします。

皆さん御承知のように、8月6日から19日の短い2週間の夏休みを終えまして、8月20日から2学期がスタートしております。各学校では、新型コロナウイルスの感染対策に加えまして熱中症対策、さらには、雷対策ということで、子どもの安全の対策に日々邁進しているところでございます。

7月の末に、御承知のように生徒の感染が中学校で確認されました。その中学校の始業式の日、新型コロナウイルスの感染者に対する差別や偏見を防止するための授業を実施されました。

子どもの感想がございましたので、御紹介いたします。

学校が臨時休校になって、またかって思いました。感染した人が悪いわけじゃないけど、やっと始まった学校なのだと思います。でも、冷静になってから家族と話をしていたら、そう思ってしまった自分のことが悔やまれました。その人自身が感染したくて感染したわけじゃないし、誰が感染してもおかしくない今の状況に、自分がパニックになって決めつけてしまいました。やはり授業で見たビデオのように、目に見えない恐怖が人を傷つけてし

まうことが自分自身を通して分かりました。私の友達は、今回のことを探るのは絶対やめようなど周りの生徒に発信していました。それがどれだけ大切なことか、とても心に響きました。そういった心を大切にしたいなと思いました。不安だけど、周りの人と支え合ってこの状況を乗り越えていきたいと思います。

別の生徒です。

LINEで、コロナ、〇年生から出たらしいとか、今日休んでいた人は誰とか怪しんでいる質問が出たけれど、その中で、犯人探しみたいなんやめようとか、コロナに感染した子が一番不安やから、こういうときこそ助け合っていかなあかんやろ、という発言をした人がいました。今、自分たちができることは、励まし合うことだと思いました。それが一番大切なのではないかと思います。

2人の生徒の感想です。

次に、先週、今年度松原市内小中学校で初めての宿泊行事を行いました。松原第五中学校の1年生ホームルーム合宿です。8月25日火曜日、26日水曜日の1泊2日で、行き先は、貝塚市にあります大阪府立少年自然の家でございます。施設側は、徹底した感染対策を施しておったようで、生徒たちを安全に受け入れていただきました。プログラムとしましては、登山、レクリエーション、野外炊飯など、子どもたちは楽しんだということです。合宿中あるいは合宿から帰ってきてからの体調不良者もなく、このコロナ禍において、思い出に残る宿泊行事を無事に実施することができたという報告を受けております。

また、今年度初めての修学旅行としまして、明日から松原第五中学校が22校のトップバッターとして修学旅行に北陸方面に向かいます。今のところ全員が出席、参加の意思を示しているというふうに聞いております。安全で思い出に残る修学旅行となりますように、学校は旅先の旅館等にも感染対策を十分施した計画、準備をしていると聞いています。

さらに、先週の臨時市議会におきまして、修学旅行支援事業の補正予算が可決されましたので、今年度の修学旅行費は保護者負担が実質なく、全額補助されることとなっております。

現段階では、修学旅行につきましては、今後12月の上旬までに22校が実施する予定でございますので、見守っていただければと思います。

また、毎月このような報告をさせていただこうと思っております。以上です。

美濃教育長

説明は終わりました。ただいまの件について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。

有馬委員

五中の1年生ホームルーム合宿、修学旅行、私の息子2人が対象で、ホームルーム合宿に関しては本当に最後まで迷ったのですけれども、欠席という形を取らせてもらいました。欠席者もすごく多くて、まだ1年生だからホームルーム合宿以外のことで、またみんなと絆を深め合っていけばいいなという形で子どもとは話して、それ以降も特に学校で変わったこともなく、みんな仲よく過ごせている感じでした。

修学旅行、あしたから行くので、親としても毎日不安ではありますが、子どもたちがすごく楽しそうに準備をしているので、本当にこの楽しみを奪

	<p>うことなく行かせてあげることが、親として何かできたらいいなと思っていますので、本当に、あした修学旅行、行われることについては楽しみで仕方がないと思っています。本当にありがとうございます。</p> <p>以上です。</p>
佐野委員	<p>前回の会議のときにも出たように、修学旅行の、親御さんの負担なしにという部分なんですけど、やっぱりいいことだとは思っています。予算的に、松原市の予算の中でやりくりできるのであれば、未来永劫というような話というのは、できるものですか。</p>
横田学校教育部長	<p>取りあえず今年は、この新型コロナウイルスに関する特別対策として決定したことでございますので、来年度以降、まだコロナのこの状況がどうなっているかにもよりますので、研究してまいりたいと考えております。</p>
佐野委員	<p>もともと予算がついているわけではなかったんですよね。コロナだからといって予算がついているわけではないんですよね。どこかから捻出してきたんですよね。</p>
岡林学校教育部次長	<p>こういうコロナに関しての新しい事業が国から提示されたのではないんですけれども、新型コロナウイルスで交付金がありまして、それは使えるかなという算段です。</p> <p>ただ、今のところまだ、最終的に市としては決まっていなくて、今年度のみということはいこうかということまで話をしております。</p>
佐野委員	<p>交付金というのは、それで全額賄えるのですか。</p>
岡林学校教育部次長	<p>まだ財政課のほうで調整をするということで聞いております。</p>
佐野委員	<p>それでも、これからは出るかどうかは、当然のことながら分からないということなんですよ。</p>
岡林学校教育部次長	<p>来年度については考えておりませんで、今年度は、修学旅行で電車を使うと考えていたけれどもバスに変えたり、金額が膨らんでいるんです。ですので、今年限りということではあります。</p>
佐野委員	<p>分かりました。</p>
美濃教育長	<p>ほかに何かございませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、これより本日の議事に入りたいと思います。議案が1件、その他が4件となっております。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、前回委員会に引き続き、説明の終わった者から退出させていただきたいと思います。</p> <p>以上につきまして、いかがでしょうか。</p>

各委員	(異議なし)
美濃教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それではまず初めに、「議案第33号 令和2年度松原市一般会計補正予算(第7号)について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。</p>
田中教育総務課長	<p>「議案第33号 令和2年度松原市一般会計補正予算(第7号)について」のうち、教育総務課の予算について御説明いたします。</p> <p>議案説明資料を御覧ください。</p> <p>まず、歳出について御説明させていただきます。</p> <p>こちらの、教育総務課と書いてあるところの1段目になるんですけども、教育費、小学校運営事業になります。</p> <p>こちらにつきましては、補正額、合計額で2,818万3,000円を追加計上いたしましたのは、小学校における学校再開に伴う感染症対策及び学習保障等に係る経費を追加計上させていただいたものになっております。</p> <p>中身としましては、学校用消耗品としまして、消毒液、石けん、マスク、あとは児童用机、椅子等。使用料、手数料といたしまして、校外学習用バスの借り上げ料。備品購入費としましてテント等、電子黒板等となっております。</p> <p>次にその下、中学校運営事業になります。こちらにつきましても同様に、中学校における学校再開に伴う感染症対策及び学習保障等に係る経費を追加計上したものでございます。</p> <p>内容としましては、学校用消耗品としまして、消毒液、石けん、マスク、児童用机、椅子等。あと、備品購入費としまして、テント、電子黒板、こちらテレビの部分の購入費用となっております。</p> <p>次に、歳入についてになるんですけども、議案書のほうを見ていただければと思います。</p> <p>議案書の一番上の段になります。教育総務費。こちらのほうで、款が国庫支出金、項が国庫補助金、目が教育費国庫補助金、節が教育総務費補助金としまして、2,365万円を追加計上させていただいております。こちらにつきましては、先ほど歳出で説明いたしました、各小中学校における学校再開に伴う感染症対策及び学習保障に係る費用に対する国庫補助金でございます。</p> <p>補助率としましては、事業費の2分の1となっております。</p> <p>以上です。</p>
田中教育総務部次長	<p>続きまして、学校給食課所管分の予算について御説明いたします。</p> <p>先ほどと同じように、議案説明資料のほうで説明させていただきます。2枚目です。学校給食課の欄を御覧ください。</p> <p>補償金としまして、723万1,000円を計上しております。こちらにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策による小中学校の臨時休業に伴いまして給食を中止しました。こちらのほうの食材加工賃につきまして補償を行うものでございます。こちらの補償につきましては、令和2年3月分の給食に係るキャンセルの分でございます。</p> <p>続きまして、歳入でございますが、国庫補助金といたしまして542万3,000円を計上しております。こちらは、先ほど説明しました補償に係</p>

吉田福祉部参事	<p>るもので、国の学校臨時休業対策費補助金を充当させていただくものでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>続きまして、福祉部所管分について御説明いたします。同じ議案資料のほうを御覧ください。</p> <p>下段のほう、まず歳出につきまして、目1、幼稚園総務費の認定こども園等運営管理事業に96万1,000円を計上いたしましたのは、令和元年度子ども子育て支援交付金国庫補助金の精算に伴う返還金でございます。</p> <p>続きまして、次ページを御覧ください。目1、幼稚園総務費の子育てのための教育施設等利用給付事業に840万円を計上いたしましたのは、令和元年度子育ての施設等利用給付交付金の国庫補助金及び府費の精算に伴う返還金でございます。</p> <p>以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>説明は終わりました。ただいまの件について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。</p>
和田委員	<p>教育総務課が提案されている部分について質問します。内容について見させていただいたんですが、コロナ対策ということで消毒液に石けん、マスクとか、そういうものは分かるんですけど、テレビが入っているんですね。あと、校外学習用バス代というのも入っています。小学校で入っているんですが、どういう観点でこのようなものを購入しようと考えているのか、教えてください。</p>
田中教育総務課長	<p>まず、テレビが小中両方あるんですけども、こちらにつきましては感染症対策といいますより学習保障という形になりまして、今年度GIGAスクール構想に基づいて1人1台端末、もう活用していきます。その中で、例えば使い方として電子黒板機能のついたテレビというような使い方を思っておりまして、そのテレビを使用することによって離れた場所でも使えるとか、そういう使い方も含めて、テレビのほうを導入していく部分と、今既に入っているテレビももう故障していっていますので、今も使えない教室というのも出てきていますので、それを全ての教室で使用できるようにすることで、有効な学習環境を提供するということで、テレビのほうを入れさせていただいております。</p> <p>それともう一点、小学校の校外学習用のバス代というのが、通常であれば学校の校外学習というのが電車で行かれるとかという形になるんですけども、電車で行かれるところが、今回のこちらについては感染症対策になるんですけども、バスで行くことによって感染を防ぐというところでありますとか、例えば今までバス1台で行っていたところを2台に分散する、そういうことによって感染拡大を防ぐというところで、今回校外学習用のバス代というところも入れさせていただいております。</p> <p>以上になります。よろしく願いします。</p>
和田委員	<p>今、テレビの質問ということで、さらに質問させてもらいますが、例えば、実際に小学校にテレビが入っていますけれども、私たち見学に行かせてもら</p>

	<p>っても、後ろのほうからだ画面が見にくいと感じることがあるんです。それを考えると、例えばプロジェクターを入れるとか、そのほうが大きい画面で見ることができたりすると思うんですけど、そういったところの検討というのはなされたのかどうか、検討の結果を教えてください。</p>
田中教育総務課長	<p>実際に、現在中学校においてはプロジェクターも入れているんですけども、やはり学校現場の意見も聞いている中で、テレビのほうが使用しやすいという部分もありまして、あと、小学校とかについてもテレビとかを今も使っていますので、その辺も含めまして、今回テレビのほうで入れさせてもらおうということになったものでございます。</p>
和田委員	<p>それでは、実質何台ぐらい買う予定でこの予算が計上されているんですか。全クラス分ということだと思んですけど。</p>
横田学校教育部長	<p>テレビの使用目的について、学校教育部からの補足です。今説明があったんですけど、例えば臨時休業、休校にまたなった場合に、具体的なソフト名でZoomなどを使って、教員が教室で子どもたちの自宅に対して授業をする際に、やはり教員がタブレットあるいはノートパソコンで分割するほど、子どもの顔が小さくしか見えないので、そのときにもテレビに分割した子どもの画面を映せば画像が大きく見えると思います。</p> <p>現に、各校で今いろいろと試しにやっているんですけども、その際、モニターをパソコンではなくて大きなテレビ画面でするとより見やすいので、実際そういう形で活用でされています。</p>
田中教育総務課長	<p>先ほどのテレビなんですけれども、入れるのが120台になっています。</p>
美濃教育長	<p>小中の内訳もお願いします。</p>
田中教育総務課長	<p>小学校で追加する分が28台、中学校が92台という形になっております。</p>
田中委員	<p>先ほどの質問に関連するんですけども、学校再開に伴う感染症対策、そして学習保障等に関わる経費ということは、感染症に対する学習保障ではなくて、これは別物だという認識なんですね。</p>
田中教育総務課長	<p>感染症対策の観点の部分と、あと学習保障というところの部分で、どちらも新型コロナ対策という形にはなるんですけども、それぞれという形で、今進めさせていただいています。</p>
田中委員	<p>ぱっと見たときに、私も和田委員と同じような意見を持ちました。感染症対策に何でテレビ、冷却ベストって何と思ったんです。冷却ベストって何ですか。</p>
浦井教育総務部副理事	<p>感染症対策と学習保障ということで、まず感染症対策につきましては、消毒液であったり、マスクであったりというものを、こちらも計上させていた</p>

だいています。

学習保障ということで、感染症の対策にも関連するんですが、密を避けるということで分割教室、分割授業を行います。その際に必要なテレビを今回多く入れさせていただくということで、テレビのほうで学習保障のほうで計上させていただいています。

バスのほうにつきましては、先ほどもありましたが、バス1台で行く予定のところ、やはり密になるということで、もう1台追加しようということの部分について、この補助金が対象になりますので、補助金を入れさせていただいています。

この補助金の対象といたしまして、学校給食に係る職員の熱中症対策ということで、冷却ベストとなっています。

この部分につきましては、例えば自校方式の考え方もございますし、松原市のほうのようにセンター方式で届きました給食を各教室に運ぶと。その際の熱中症対策という形になりますので、これらを計上させていただいたものでございます。

田中委員

ありがとうございました。続きまして、勉強不足でお恥ずかしいんですけども、子ども未来室の中で、国庫返還金というのがあるんですけども、当初予算でこの返還以上のお金を要求していたということなんですか。

吉田福祉部参事

その教育の利用給付事業につきましては、市のほうで、まず人数のほうをある程度予定を組みまして申請をしています。その分について、最終の実績との差異が生じた場合に返還という形になります。

中谷子ども未来室長

毎年大体1月頃に、見込みで交付申請というのをするんですけども、実際3月末の実績を確定したときに、国庫の交付でもらい過ぎていましたので、翌年のこの今年、令和2年度で補正予算を組んで返させていただくという形になっております。

以上でございます。

有馬委員

校外学習用バス代なんですけれども、小学校では計上されているんですが、中学校でも校外学習があると思うんですけども、中学校の場合は計上されていないということは、今年度限り中学校は校外学習を行わないということなんですか。それとも、電車で中学生は校外学習を受けるということになるのでしょうか。

岡林学校教育部次長

実はこの事業は、先ほど説明もあったように2つの目的で、国のほうが新しくコロナ対策として立てた事業で、感染症対策、もう1つはコロナで3か月も学校を閉じたわけですから学習保障。そして、密を防ぐために空き教室も使って学習することで、子どもたちが3か月失われた分をスムーズに取り戻せるようにということで、このテレビを入れさせていただいています。

ただ、実はこれは、学校長裁量の事業でして、学校長が、この予算の中で、今年度どうしても欲しいというものを、調査をかねまして、いろいろ上げてきてもらったんです。中学校は、やはりテレビのほうに重きを置きたいと。限られた予算の中で何を優先するかということ。消毒液であるとか、そういったものをまず優先、そして次にテレビを優先していきたいというのが、中

	<p>学校長の考えでございます。</p> <p>ただ小学校は、テレビが中学校に比べてたくさん入っておりますので、テレビだけではなくて、小学校では1年生なんかでも行事ができなくて、何か子どもたちが友達と本当に楽しかったなというような、そういった行事もきっちりと密を避けてできないかなというのがあったので、テレビを買う台数が少ないので、ここに学校長裁量として入れさせてもらえないかということで、小学校の校長のほうから依頼があり、入れさせていただいたということでございます。</p> <p>以上です。</p>
栗崎委員	<p>最後に、テントについても、どういうテントで、どういうふうな使い方をするのかというのを教えてください。</p>
田中教育総務課長	<p>テントにつきましては、今上がってきているのは、運動会とかで使うようなテントが上がってきているんですけども、こちらにつきましては、例えば運動会の際に熱中症対策というところと、あと、保護者とかの席とかについてもテントを置けるようなことも含めて、できるだけ多くの人々がテントを使えるように、テントのほうを入れさせていただいている形になります。</p>
栗崎委員	<p>どのぐらいの数になるんですか。</p>
岡林学校教育部次長	<p>学校のことですので、答えさせていただきます。</p> <p>特に運動会は、何とか密を避けてやりたいという学校の思いがございまして、そうすると、いつもは、けがをした子が来る保健室代わりのテントがあるんですけども、それ以外にも、ちょっと熱がある子も来られるようなテントもいるよね、ということです。やはり密は避けてやるんですけども、そういったテントもいるということで、いろんな学校で少し小ぶりのテントを買いたいということで、ここは、小学校も中学校も、全校ではありませんでしたけれども結構手が挙がっておりました。</p> <p>ちょっと数が分からなくて申し訳ないです。</p>
栗崎委員	<p>いいです。今現在もたくさんあるのかな、足りないのかなと思って。</p>
田中教育総務課長	<p>今はまだ足りない状態でございます。</p>
栗崎委員	<p>足りないから買うんですものね。</p>
田中教育総務課長	<p>そうです。</p>
美濃教育長	<p>補足させていただくと、先ほど岡林次長が話しておりましたけれども、今回、国からコロナ対策、熱中症対策だということで、学校裁量経費として学校の希望に応じて、例えば300万円とか200万円とかを分配すると。校長の判断で欲しいものを決めて使ってくれというものだったんです。</p> <p>なので、それは毎年来ればいいなと思いつつ、ただ今回のコロナの特別対</p>

策だということもあって、来年同じように来るかどうかというのはちょっとまだ分かりません。

それと、あとGIGAスクールということで、今回一気に整備をするわけですけれども、数年たつとやはり更新の時期というのも来てしまうと思いますので、そういうときに、また国が何らかの援助をしてくれるのか。一度導入したから、もうあとは全部自治体に任せようというのではなくて、こういう国策として全員に1台ずつというのを容認したわけだから、その後の面倒というフォローもしっかりしてくださいということは、国、府のほうに教育長協議会としてもしっかり申し入れていきたいと思いますので、足並みをそろえていこうというところでございます。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいですか。

ないように見受けられますので、「議案第33号 令和2年度松原市一般会計補正予算（第7号）について」を可決することに御異議ございませんか。

各委員

（異議なし）

美濃教育長

異議なしと認めます。

よって、「議案第33号 令和2年度松原市一般会計補正予算（第7号）について」は、可決されました。

続きまして、その他案件「令和元年度決算状況について」の説明をお願いいたします。

田中教育総務
部次長

それでは、令和元年度教育費の決算状況について、御説明いたします。
配付しております「令和元年度決算状況について」の資料を御用意ください。

まず1ページ目になります。一般会計歳入歳出決算についてでございます。

歳入額。市の歳入額になりますが459億9,723万8,495円になります。歳出額につきましては、458億9,501万4,774円になりまして、歳入歳出の差引き額につきましては、1億223万3,721円の黒字になっております。

次のページをお願いいたします。このページは、一般会計決算のうち、教育委員会が所管する教育費の歳出分をまとめているものになります。

令和元年度の教育費の歳出総額のうち、教育委員会の所管分につきましては左から3列目になりますが、一番上です。43億7,643万1,835円になります。ちなみに前年度、平成30年度との比較になりますが、平成30年度の決算額は右から2列目になりますが、23億6,255万5,881円でございます。差引きのほうは20億1,387万5,954円の増額となっております。

増減率につきましては、85.24%になります。この総額に占める一般会計の教育費に対する割合でございますが、前年度は6.05%でしたが、令和元年度につきましては9.54%となっております。

次に、先ほど昨年度と比較しました増額分の主なものについて御説明いたします。

左端の列から見ていきますと、小学校費になりますと、学校建設費が増額の主なものになります。こちらにつきましては、各小学校の空調設備の新設やブロック塀の改修にかかった費用でございます。

その次です。中学校費につきましては、小学校と同じく学校建設費が増額になっておりまして、同じく中学校の空調設備の新設と、ブロック塀の改修にかかったものでございます。

次に、幼稚園費の幼稚園総務費の増額の主なものにつきましては、昨年度より幼児教育の無償化に伴いまして、私立幼稚園や認定こども園の利用者に対しましての保育料でございます。

次に、社会教育費の図書館費の増額がございしますが、こちらの部分につきましては、松原市の新図書館、読書の森の建設にかかったものでございます。

以上、教育費全体の説明とさせていただきます。

続きましては、各所属部署より御説明申し上げます。まず、教育総務部の所管分について、各課より御説明を申し上げます。

宮本教育政策
課長

教育政策課所管の決算について御説明申し上げます。

実績報告書の1ページを御覧ください。下に書いてあるページ数になりますと7ページになります。上段、教育委員会管理費につきましては、教育委員会開催に伴います費用でございます。

続きまして、8ページ上段、文化の日表彰事業につきましては、松原市教育委員会表彰実施要領に基づきまして、松原市の教育の振興に関し功績顕著な個人、団体及び児童、生徒を表彰するものでございます。令和元年度の表彰者数は18名でございました。これは、スポーツ関係団体の表彰、例えばバレーボール団体やテニス団体などが、市長部局の表彰に移りまして、表彰対象者が減少したものでございます。

経費の内訳としましては、報償費につきましては、表彰状と、記念品として額縁のほうを送らせていただいております。役務費につきましては、受賞の方への招待状等の発送の費用になります。

続きまして、9ページ中段を御覧ください。

教育振興基本計画策定事業につきましては、教育振興基本計画後期計画の策定に係る策定委員の報酬と旅費、資料の郵送料、コンサルティング事業者への委託料となっております。令和元年度は2回策定委員会を開催いたしまして、パブリックコメント案の作成までを行いました。予定では、令和元年度で終了することとなっておりますが、完成することができませんでしたので、予算と決算の差が生じたものでございます。また、今回製本した完成品のほうをお配りさせていただきましたので、御覧いただきますようによろしくお願いいたします。

以上、教育政策課所管分の説明とさせていただきます。

田中教育総務
課長

令和元年度決算状況につきまして、教育総務課所管分の主なものについて説明させていただきます。

まず、15ページを御覧ください。

上段の学校ICT機器等整備事業、こちらにつきましては、各学校におけるICTの整備事業になっております。令和元年度につきましては、小学校の普通教室に合計30台のノートパソコンを導入したものでございます。

次に、17ページを御覧ください。

中段の、小学校施設維持管理事業及び20ページ中段の、中学校施設維持管理事業についてでございます。こちらにつきましては、それぞれ市立小中学校の校舎内外の維持管理及び修繕に伴う費用になっておりまして、教育施設の保全に努めたものでございます。

次に、36ページを御覧ください。

こちらにつきましては、小学校施設の整備事業ということで上げさせていただいておりますけれども、令和元年度に実施しましたものとしましては、先ほど説明ありましたように、各小学校のブロック塀改修事業、各小学校の空調設備新設事業、あと各小学校庇改修等事業の実施により、小学校施設における教育環境の改善に努めたものでございます。

また、次に37ページを御覧ください。

こちらにつきましては、小学校同様、中学校施設の整備事業となっております。令和元年度につきましては、各中学校のブロック塀改修事業、各中学校の空調設備新設事業、各中学校の庇改修等事業の実施により、中学校施設における教育環境の改善を努めたものでございます。なお、こちらの部分で各中学校トイレ改造事業につきましては、令和元年度、設計のみ行っておりますので、監理及び工事につきましては令和2年度に繰越しをさせていただいておりますので、令和元年度事業としては、全額令和2年度に繰越しさせていただいているものとなっております。

以上となります。

田中教育総務
部次長

続きまして、学校給食課所管分の主な事業につきまして御説明を申し上げます。

まず、34ページをお願いいたします。

下の段です。学校給食業務事業につきましては、小学校15校の児童5,369人に対する給食を実施しました。計96万520食の提供をしております。小学校給食につきましては、松原学校給食株式会社に委託をして実施しており、また、学校給食株式会社は松原市が設立している会社でございます。社員の人件費相当部分については補助金として支出しております。

次に、35ページのほうをお願いいたします。

中学校給食事業でございますが、こちらは、中学校7校の生徒2,759名に対しまして給食を実施しております。給食の食数につきましては43万4,753食になりまして、中学校給食は民間の事業者2社に委託して行っているものでございます。

続きまして、文化財課所管分につきまして御説明申し上げます。実績報告書の31ページをお願いします。

31ページの下段になりますが、調査・保存事業でございます。こちらにつきましては、地域の文化財を次世代へ継承するため、文化財の調査や保存、活用等を行いました。主なものとしたしましては、市指定文化財の選定調査と、丹南地区の来迎寺の美術工芸品の調査や、埋蔵文化財の現地調査を行いました。

また、令和元年度につきましては、日本遺産竹内街道と周辺文化財について、阪南大学と連携して映像を作成しました。こちらの映像につきましては、ホームページ等で発信しており、また図書館でもDVDの貸出しを行っております。また、文化財啓発雑誌のたじひのたよりでは、立部遺跡の出土品に

岡林学校教育
部次長

つきまして特集を組み、紹介をいたしました。

そのほかといたしましては、来迎寺の調査結果報告会に120名の参加がありまして、郷土かるたを用いた第5回かるた大会を開催して、こちらのほうは小学生96名の参加がございました。

以上でございます。

続きまして、学校教育所管分、主なものについて、各担当課より御説明申し上げます。

幸教職員課長

教職員課所管分の主なものを御説明させていただきます。

実績報告書の9ページを御覧ください。

1段目の、これからの学校教育基本構想検討事業でございますが、小中一貫教育やコミュニティ・スクール、学校の適正規模等、松原市のこれからの学校教育基本構想について検討する諮問機関として、検討委員会を設置したものです。平成30年度から開始し、令和元年度に諮問に対する答申を頂いたところでございます。

続いて、17ページを御覧ください。

3段目の支援教育運営事業（小学校）についてでございますが、教育上支援を必要とする小学生に対し、教育支援員15名、介助員16名を配置し、それぞれの教育的ニーズに応じた指導、支援に努めたものでございます。

続きまして、18ページ、2段目を御覧ください。

要保護及び準要保護児童生徒援助事業（小学校）につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる児童1,162名の保護者に対し、学校で必要な費用の一部を援助したものでございます。令和元年度の認定率は、全児童の21.6%となっております。

続きまして、20ページを御覧ください。

3段目の、支援教育運営事業（中学校）についてでございますが、小学校と同様に、教育上支援を必要とする中学生に対し、教育支援員7名、介助員5名を配置し、それぞれの教育的ニーズに応じた指導、支援に努めたものでございます。

続きまして、21ページを御覧ください。

3段目、要保護及び準要保護児童生徒援助事業（中学校）についてでございますが、これも小学校と同様、経済的理由により就学が困難と認められる生徒687名の保護者に対し、学校で必要な費用の一部を援助したものでございます。令和元年度の認定率は、全生徒数の24.9%となっております。

以上でございます。

森教育推進課
長

教育推進課所管分の主な事業について御説明させていただきます。

11ページにお戻りください。

1段目の国際化教育推進事業についてですが、小中学校の英語教育の充実に向け、ALTと英語指導協力員を派遣するとともに、日本語指導の必要な児童生徒に指導協力員を派遣したものです。また令和元年度は、全中学校2年生を対象にスコア型英語検定試験（GTEC）を実施いたしました。

続いて、15ページを御覧ください。

2段目のセーフスクール推進事業についてでございますが、松原市立の小中学校においてセーフスクールの取組を進め、安心安全な学校づくりの充

前崎地域教育課長	<p>実を図ったものでございます。松原第三中学校区に引き続き、松原第四中学校区並びに松原第七中学校区において国際認証を取得いたしました。</p> <p>以上でございます。</p> <p>地域教育課所管分の主な分を説明させていただきます。</p> <p>14ページを御覧ください。</p> <p>1段目の、児童自己防衛力育成事業についてでございますが、児童の安全確保に向けて、小学1年生に防犯ブザーを配布するとともに、青少年の安全確保を目的として、青少年対策会議事業に対する補助を行ったものでございます。それと、令和元年度につきましては、災害時等安否確認メールシステムを導入し、非常時等の対応に努めました。</p> <p>続きまして、26ページを御覧ください。</p> <p>1段目の、地域・家庭の教育力向上事業についてですが、様々な世代に生涯学習の機会を提供するとともに、中学校区でのフェスタ等の諸活動を通じて、地域の教育コミュニティづくりの推進を図ったものでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
矢野教育研修センター長	<p>教育研修センター所管分の主なものを説明させていただきます。</p> <p>10ページにお戻りください。</p> <p>1段目の、児童・生徒理解活動（心の教育）推進事業についてでございますが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、チャレンジルームの運営などを通して、いじめ、不登校、問題行動等への対応や未然防止など、生徒指導の充実を図ったものでございます。特に令和元年度スクールソーシャルワーカーにつきましては、7中学校区全てに配置しております。</p> <p>続きまして、12ページを御覧ください。</p> <p>1段目の情報教育推進事業についてでございますが、情報化社会に対応した教職員の指導力向上や情報機器活用スキル向上のための研修を実施したものです。特に令和元年度以降の小学校におけるプログラミング教育必修化に伴い、専門的な知識を有する人材を市内全小学校に派遣いたしました。</p> <p>以上、学校教育部所管分の説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。</p>
手束市民協働部副理事	<p>令和元年度いきがい学習課の分なんですけど、実績報告書27ページをお願いいたします。</p> <p>下段の、生涯学習事業についてですが、公民館施設等を利用した各種事業を実施しました。まず、家庭教育力向上講座（居場所づくり）として9講座、地域活動支援者養成講座として10講座、地域の教育力の活用として保育担当者、まっc o m、公民館サポーターを派遣した実績を持っております。また、市内5か所の公民館で各種事業を実施しました。詳細につきましては、後ほど活動報告で御説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、29ページをお願いいたします。</p> <p>上段の市民図書館管理運営事業についてですが、こちらにつきましては、市内6か所の図書館の運営経費を計上しています。また、1月26日にグラウンドオープンしました、読書の森の運営経費及び準備経費等を含めた決算額</p>

となっております。

続きまして、38ページをお願いします。

下段の松原市新図書館建設事業（繰越分）についてですが、こちらは読書の森が令和2年1月に引き渡されておりますが、こちらの令和元年度の必要経費を計上させていただいております。

以上で、市民協働部いきがい学習課の主な経費についての説明とさせていただきます。

以上です。

中谷子ども未来室長

福祉部子ども未来室所管分について、主なものについて説明させていただきます。

22ページのほうにお戻りいただきたいと思います。

令和元年度の幼稚園費についてでございますが、こちらの幼稚園運営管理事業についてでございますが、こちらは幼稚園教育における必要な公立幼稚園運営経費でございます。

続きまして、23ページの2段目のほうをお願いします。

幼稚園預かり保育事業につきましては、幼稚園全園で教育課程終了後に預かり保育のほうを実施いたしました。また、四つ葉幼稚園におきましては、早朝の預かり保育を実施し、子育て及び就労支援の充実を図ったものでございます。

続きまして、24ページのほうをお願いします。

2段目になるんですけれども、子育てのための教育施設等利用給付事業についてでございますけれども、これは昨年、令和元年10月から、幼児教育・保育の無償化に伴いまして、新制度未移行の私立幼稚園の3歳から5歳までの子どもの保育料の給付を行ったものでございます。

続きまして、37ページに移っていききたいと思います。

37ページの2段目になるんですけれども、恵我幼稚園解体撤去事業につきましては、老朽化している園舎を解体したものでございます。

以上、子ども未来室所管分の主なものについて説明させていただきました。

美濃教育長

説明は終わりました。

ただいま説明がありました件について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。

田中委員

何点か、細かいことで申し訳ないんですけれども、まず、教育総務費の中で、文化の日の表彰事業というのが、予算に対して約半分ぐらいの決算額なんですけど、もう少し被表彰者数を増やすというふうな取組はできないんでしょうか。

いろいろと教育関係に関して貢献されている方は多いと思います。例えば、今年ではできなかったと思うんですけども、各中学校の職業体験。こういったものに、毎年協力してくださっている企業があると思うんですけども、そういったところに表彰状一つでもお渡しするとか、そういったことも継続してされたらどうかなということでございます。

次に、6月までに空調をつけていただいたんですけども、この予算というか決算は、これには載っていないんですね。次年度ですよ。

宮本教育政策課長	<p>文化の日の被表彰者に関しましては、先ほども申し上げましたように、スポーツ関係団体が市長表彰のほうに変わったということがあります。</p> <p>昨年度、職業体験のいつも御協力いただいている団体との懇親会におきまして、昨年度からの実績を踏まえまして、今後5年間協力していただいたところに表彰対象者とさせていただきます、というお話をさせていただいておりますので、今後増えていくかと思っております。</p> <p>今までも感謝状のほうはお渡しさせていただいたことがあるんですが、表彰の対象者とさせていただくこともお話させていただいております。</p> <p>以上です。</p>
田中委員	<p>最後に、決算状況ということで、これが令和元年度予算を皆さんが組まれて執行されての決算額ということで一つの評価だと思うんですけども、これ、皆さん、各課、評価としては5段階評価の5点だと考えておられますか。もしそうでないよ、というふうな方があるのであれば、その点はどこかなど。それを教えてもらいたいなと思っております。</p>
中瀬福祉部長	<p>福祉部でございます。</p> <p>先ほど室長からも御説明させていただいた、幼児保育・教育の無償化に伴う実績につきましては、予算に比べまして100%はいかない、70%ぐらいの執行率になっているというところで、やはり今まで把握していなかった未移行の、新制度に入っていない幼稚園の子どもたちの把握が、やはりかなり難しかった結果、人数を多めにみた結果、余ったということと、各園の保育料というのは多岐にわたっておりまして、今一定、2万5千数百円までの補助があるんですけど、それより安い園、高い園、いっぱいあったというところで、全てが国の補助対象額を超えていたと思っていたんですが、それより安い保育料を設定している園があった。だから、補助額が少なかった。様々な要因があるんですけども、今回は10月から始めて、コロナ禍になってしまいましたが、次年度以降につきましてはどんどんと精査していった、このような不執行になるようなことはないかなど。先ほど返還金が出たという結果も出ていますので、その辺は反省すべき点かなと思っております。</p> <p>以上です。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。</p>
宮本教育政策課長	<p>教育振興基本計画策定事業につきまして、本来でしたら、先ほども申し上げましたように令和元年度で終了する予定でございましたが、パブリックコメントの実施が令和2年4月、今年の6月議会で御承認いただいたということで、冊子の印刷ができなかったということがございまして、予算のほうが減額されているので、それで令和2年度のほうに印刷費のほうに移っているというような形になります。</p>
田中委員	<p>厳しいような質問をしたと思うんですけども、要は、皆さん、予算執行されているんですから、それは自信を持ってされていると思うんですよ。だから、その中で、何がその予算額と違っていたのかというのを、各皆さんがもうお持ちだと思っているので、それを踏まえて次年度、またこれからの予算執行</p>

	<p>その他を踏まえていただければなという意味合いで発言させてもらったので、よろしく願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>重要な御指摘をいただきまして、ありがとうございます。 ほかに何かございませんでしょうか。</p>
和田委員	<p>教職員課にお尋ねします。9ページの、これからの学校教育基本構想検討事業についてなんですが、私、欠席したところがあるので、そのときに報告されているのかもしれませんが、答申を行ったというふうにあるんですが、特にコミュニティ・スクールについて、どのような答申が行われたのか教えてください。</p>
幸教職員課長	<p>コミュニティ・スクールに対する答申につきましては、松原市は、これまでの中学校区の取組を引き継ぎながら、中学校区のコミュニティ・スクールを松原市版として今後作っていかうというふうな答申を頂きました。 以上でございます。</p>
和田委員	<p>それでは、その答申を踏まえて、コミュニティ・スクールづくりの今年度の動きについて、進捗状況があれば教えてください。</p>
幸教職員課長	<p>当初は、令和3年度にコミュニティ・スクールを中学校区で作ろうと考えていたんですが、今年度コロナ禍の中で会議とかが持てず、教職員の周知であるとか地域への周知であるとか、その辺りが前半なかなかできなかったもので、現在のところ、令和4年度にコミュニティ・スクールを作ること、これからの学校教育基本構想検討委員会も、この令和2年度の方は4回なんですけれども、松原版のコミュニティ・スクールについての答申を頂く予定でございます。 以上でございます。</p>
和田委員	<p>質問の趣旨ですが、コミュニティ・スクールがある学校については、非常に地域の方と子どもたちの関係、つながりが非常に強くなって、よい結果が出ているというような事例も見ていますので、ぜひそれについては早く進めていただきたいという趣旨でした。 以上です。</p>
栗崎委員	<p>教職員研修事業についてお尋ねいたします。515万3,000円の予算のうち325万1,000円が決算として上がっておりますが、これはダンス研修会を行ったということ、1回の分ですか、何回かされているんですか。</p>
岡林学校教育部次長	<p>実は全3回組んであったんです。最初は見積りを、そういうダンスで松原市をPRするというので、市とLDHという企業と協定を結んでやる中で、ダンスの研修もそこでやれないかと、中学校がダンス、授業で必修化されていますので、それで見積りを頂いて組んだんですけれども、結局見積りよりも非常に額を少なく言ってきてくださったので、これだけ額が余ったということなのですが、実際計画どおり、一度はEXILEのUSAさんも来ていただいてのダンスの研修、そして、子どもたちへの研修、そして、まっ</p>

	ばらマルシェでも子どもたちと一緒に踊っていただいたということがございまして、それは全て計画どおり進んでおるところでございます。
栗崎委員	200万円ほど余っていますけど、それはほかの研修には使われないのですか。
岡林学校教育部次長	ほとんどダンスの見積りの額が、実際には低かったというものでございます。ほかの研修も実施できております。
栗崎委員	分かりました。
田中委員	1点だけ、質問というよりも、今回これは決算報告なので少し外れるのですが、これからの学校基本構想ですか。要は、少子化が問題になって、かなり長くたつんですけれども、そういったことを踏まえて今後の松原の学校運営をどうしていくかというのが、これ本来の課題だと思うんですけれども、こういったことに関して、そんなに先延ばしすることもできないだろうし、ある理想像的な目標を掲げて、そこに走っていくプロセスというのか計画というのか、スケジュール的なものも、どこかの時点で出さないといけないんではないかなという気は、個人的にはしておるのですけれども、その点はどうなのでしょう。
幸教職員課長	その辺りにつきましては、通学区域審議会のほうに諮っていきたいと考えておりまして、今の段階で通学区域審議会が開けていない状況なのですが、開ける状況になれば、その辺りの計画も提案したいなというふうに考えております。
田中委員	その提案というのは、どういう提案なのでしょう。
幸教職員課長	通学区域審議会で、これまでも松原西小学校の子どもの数が少なく、全学年1学級というところが問題になっておりましたので、それを解消するために、やはり統合等を考えていかなければならないというところで、それをどのようにスケジュール的に組んでいくのかというところを、通学区域審議会でも提案したいなというふうに考えております。
田中委員	分かりました。ただ、西小だけの問題ではなくて、これから松原全体の問題になると思うんですよね。だから、今回西小のことを言ってますけれども、そうじゃなくて、松原市全体を見たときに、どのように学校運営していくのかということも、ある意味考えていくべき時期なんじゃないかなと。そして、それを具体的な目標を掲げてスケジュールリングしていかないと、どんどん先延ばししようとしていくと、あたふたするようなことになるのではないかなと危惧しておるので、その点、またいろんな検討会があると思いますけれども、研究されていると思うんですけれども、その点をよろしく願いしたいと思っております。 以上です。
幸教職員課長	ありがとうございます。私たちも、校舎の老朽化という問題も、また今後

の子どもの児童生徒数予測等というところも含めまして、様々な状況を考えていかなければならないと考えております。

この検討委員会におきましても、小中一貫のほうもいろいろ検討していたこともありまして、そういうところも含めまして総合的に考えていきたいと思っております。

以上でございます。

岡林学校教育
部次長

補足といたしまして、これからの学校教育基本構想検討事業委員会のほうで、やはり全学年1学級というのは子どもにとってどうか、というのは考えていきたいと思いますという答申を頂いております。そういう意味では、ただ、検討委員会のほうでも、やはり小規模だから悪いということでは、決めつけられる現状なのかというように御意見も頂いておりますので、そこは慎重に、それぞれの状況を鑑みながら考えてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。ほかにございますでしょうか。

「令和元年度決算状況について」は、ここまでとしたいと思えます。それではここで、福祉部の職員は退席をお願いしたいと思います。

続きまして、その他案件「松原市民図書館活動報告2019年度の提出について」の説明をお願いいたします。

手東市民協働
部副理事

水色の冊子を御用意ください。開けていただいて、1ページ、2ページに続いてなんですが、1歩みということなんですけど、松原市の図書館の歴史を、この2ページで書かせていただいています。

次に、ちょっと飛ばしまして4ページを御覧ください。

こちらのほうは施設の概要ということで、現在の図書館、旧松原図書館、一番下に書いておるんですけども、こちらについては、まだ解体工事が終わっておりませんので、終わった段階において教育財産の廃止手続を取らせていただく予定になっております。

続きまして7ページ、お願いいたします。一番下の欄の2019の横の数字で45万6932と書いておりますけど、こちらの数字につきましては、松原市の所蔵冊数、括弧書きのところは児童書の冊数、内数になっております。

続きまして、10ページをお願いいたします。

同じく下のほうに、2019の横の数字のところを書いておるんですけど、この部分につきましては、年間の2019年度の貸出しの数字となっています。前年度より数字が大きく下回っているのは、主な原因としましては、新型コロナウイルスの感染拡大のため3月2日より全図書館を休館したことと、新図書館建設に伴って松原図書館が2か月半ほど休館していたというのが要因になっていると考えられます。

続きまして、11ページをお願いいたします。

こちらのほう、一番下の欄で2019の横の数字なんですけれども、1万1,363人。この方々が、1回とか複数回借りられていると。人口ベース

に直しますと約10%、1割弱の方が図書館を利用したんだということです。若干、数字のほう上がっているところは、やっぱり読書の森ができて、新しくカードを作られた方も増えているのかなということは伺えるかと思えます。

続きまして12ページ。

こちらのほうに各図書館の利用状況を書かせていただいています。貸出件数とか貸出冊数。どういうタイトルで、どれだけの利用があるかということを書かせていただいています。

13ページ。

同じような内容ですけども、一般書、児童書、雑誌、CD、DVDとかの貸出状況の推移を、こちらのほうでは書かせていただいています。

こちらのほうについては、貸出しの費目ごとに推移を掲載させていただいています。上の段が開館中の貸出状況。下の段は、3月2日から3月31日の、先ほど御説明させていただいた内容なんですけども、図書館は休館しているんですけど、予約した資料をカウンターで受渡しするようなサービスと、宅配サービス等やっておりましたので、そちらのほうの数字を、こちらのほうに記載させていただいています。

15ページを御覧いただけますでしょうか。

これは、日本全国どこの図書館でも本のやり取りをしておるのですけれども、松原市の図書館にある本を貸してくださいという連絡がありましたら、そちらのほうに送るし、逆に、松原市の住民の方がそちらの本が欲しいと、探してほしい、そういう本が府内になかったら、他府県に頼んで本を送ってもらって市民に提供する。そういう統計資料が、こちらのほうになっております。

16ページ。こちらのほうにつきましては、録音図書の作成や、貸出状況を記載させていただいています。

ずっと飛びまして、19ページになります。

こちらのほうにつきましては、図書館において講演会、講習会を実施した内容を、19ページ、20ページにかけて書かせていただいています。

最後に26ページを開けていただけますでしょうか。

こちらのほうは、学校との連携ということなんですけども、小学校の児童をお迎えして説明があったり、中学校の生徒だったら職業体験ということで、図書館に2日間ほど来ていただいて、職業体験をした内容について記載させていただいています。

主な内容についての御説明については終わらせていただきます。

以上です。

美濃教育長

説明は終わりました。この件について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。

佐野委員

システムのなところなんですけど、いわゆる電子化と、それから小学校、これから端末が入って、経由で見られるとかというような電子的な融合というのは考えられていますか。

手東市民協働
部副理事

本の電子化につきましては、日本国内においては著作権が結構きついで、海外においては電子化されているところもあるんですけど、全体的な新

	<p>しい本について電子化を作者が許諾とか、出版社が承認していないんで、なかなか広がっていったのかなということが主で、電子図書館は松原市もやっているんですけども、許諾を受けた資料については電子化をしているんですけど、なかなか広がりが難しいです。</p> <p>ただ、時代の流れとして、そういうふうには発展していけば、ペーパーレス化につながるのかなというふうには考えております。</p> <p>松原市だけではどうしようもない部分がございますので御理解ください。以上です。</p>
佐野委員	<p>今持っている、電子化されているデータを、小学校、中学校の児童・生徒が見るといふようなところのネットワークはどうですか。</p>
手東市民協働部副理事	<p>電子化、電子図書館というのがあるので、そちらのほうについては松原市の在住の方だったら見ていただくことは可能です。</p> <p>登録、今システムが変わりましたので、図書カードを持っておれば自分でパスワードをもらって、電子化されているものについては閲覧していただくことができるようになっております。</p>
佐野委員	<p>ということは、今度入っていく端末からも見られるということですね。</p>
手東市民協働部副理事	<p>インターネット環境があって、図書カードをお持ちで、パスワード設定された場合については、電子化されている資料については閲覧していただくことが可能です。</p>
佐野委員	<p>今、小学校も中学校もネットワーク化されているから、見られるということで考えておいていいんですよ。</p>
手東市民協働部副理事	<p>今、電子図書館として所蔵している資料については、閲覧していただくことが可能です。</p>
佐野委員	<p>分かりました。</p>
田中委員	<p>僕も週に1回、1冊か2冊は必ず図書館に行ってお借りしておる身なので、各図書館の職員の方、非常に親切で、いろんなことを教えていただけるので助かっておるんですけども、その中で松原南図書館、岡図書館は、廃館になってそのままですよ、跡地はどうなるのですか。</p>
手東市民協働部副理事	<p>今あちらのほうについては、コミュニティセンターとして活動させていただいています。返却ポストがあります。予約した資料の受渡し場所にはなっておるといふことです。</p>
田中委員	<p>一応活用はされているんですね。</p>
手東市民協働部副理事	<p>はい。</p>

田中委員	<p>それとやはり蔵書を借りる貸出冊数が、やはり年々下がっているというのは否めないと思うんですけども、これを何か子どもたちを含めて、本を読むように、本は面白いよというふうなものに持っていけないかなと。これは図書館の行政ではなくて学校教育のほうにもなると思うんですけども。目で見ると、スマホとかそういうものを見るんじゃなくて、活字を読むというのが大事だと思うんですけど、何かいい手立てはあるんですか。</p>
矢野教育研修センター長	<p>教育委員会としまして、図書館、学校教育の学校図書館の充実に関しては、やはりじわじわと、漢方のように子どもたちの学力に効いてくるものだというふうに考えております。図書館司書が、教育研修センターにもいますので、今までも小学校に司書を配置して、子どもたちの図書活動充実、読み聞かせも含めてしていただけるような体制を今も取っております。</p> <p>今年度は、中学校の図書館にも行き始めているという現状でございます。以上です。</p>
岡林学校教育部次長	<p>追加で、このコロナの感染拡大の折に、図書館をどうしても閉めざるを得なかったということで、図書館が学校に団体貸出しをしていただいたり、そのようなできる限りの工夫はさせていただいております。</p> <p>新しい図書館がオープンした頃は、例えば支援学級の子どもたちが歩いて図書館に行ったりできていたんですけども、なかなか閉じてからは、今も感染の拡大状況は少し落ち着いてきたとはいえ、なかなかどっと子どもたちが行けるかというのは、私たちもどうしようかなというふうに考えているところでございます。</p> <p>おっしゃるとおりで、子どもたちには新しい図書館に行っていたきたいですし、児童書を充実させていただきましたので、本当に環境としてもすばらしいですので、今後感染状況を見ながら対応していきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
手東市民協働部副理事	<p>指定管理に変わりました、今までだったら学校の先生が本を取りに来て、返しに行くのも学校の先生に来ていただいていたんですけども、事業者の提案で団体貸出しで結構な冊数を借りていただくときに、配送というか運搬の関係で手伝っていただいているということで、取りに行くような、学校の先生に負担がかからないような形で運営しているという手法でやっています。</p> <p>なおかつ、コロナの関係で腰が折られたような感じがあったんですけども、やはりオープンしたてで、かなりの冊数が出ておりましたし、今も週末、土日になりますと、従来の図書館、松原図書館の倍ぐらいの貸出冊数になっています。やはり大きい図書館、親子連れか何かで来られているのかなというふうには思っているんですけど、ただ、やはり図書館は、密になることあるので、来館者数は分館よりは少し少ないのかなというふうなことで、この状態が収まって、人が集まるような企画ができればいいんですけど、おはなし会とかについても、人数制限とかそういうのをかけながらやっているというのが現状なので、落ち着いたときに、もう1回切り返しの何か策を練っていききたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>

和田委員	<p>関連してなんですが、この資料を見せていただくと、26ページ、27ページに学校との連携ということが書かれていまして、見ていますと、小学校だけ、小学校と非常に密にさせていただいて、読書活動、全国学力学習状況調査で、1日に読書を30分でもするというのが、中学校になると減っているということがありますので、これは図書館というよりも学校のほうに、ぜひ中学校のほうに、読書をするために例えば図書館の団体貸出しで学校のほうに借りていただけたら、中学生が本に触れる機会を作っていただきますよう、またアドバイスなりしていただけたらと思います。要望です。</p>
美濃教育長	<p>ありがとうございます。 小中学生には読書通帳を配っていたのですか。</p>
手東市民協働部副理事	<p>オープン的时候には、小学生に、全児童に配布ということで、学校に配送、校長会で可決させていただいて、読書通帳を配りました。 あと、中学生までは無料配布というのもあるので、申し出ていただいたら渡してもらえるとということです。 またその辺についてもPRしていくように、周知していきたいと思います。</p>
美濃教育長	<p>実際に配ったはいいいけれども、それに記帳しているとか、使っているかどうかとかというの、もしデータとして取れるんだったら、今後それをPRしていく上でも、何かいい方法があるのかなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
有馬委員	<p>今、読書通帳と聞いて思い出して、うちの子ももらったんですけども、読書通帳というのは読書の森だけでしか使えないのですか。ほかの図書館はどうでしたか。</p>
手東市民協働部副理事	<p>おっしゃるとおり、読書の森だけです。やはり来館者数とか費用対効果を考えた部分もあって、設置としては松原図書館の設置だけになっているということです。</p>
有馬委員	<p>できれば、ほかの図書館でも使えたらいいなと。やはり子どもは、自転車で行ける校区内の図書館とかになってしまうので、せっかく使いたいわく使えないってすごく残念なので、考えてもらえればありがたいなと思います。</p>
美濃教育長	<p>ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。 よろしいですか。 続きまして、その他案件、「令和元年度（平成31年度）松原の公民館活動「令和元年度（平成31年度）活動報告書」の提出について」の説明をお願ひしたいと思います。</p>
手東市民協働部副理事	<p>カーキ色の冊子をお願いいたします。 まず最初に、2ページから8ページの内容につきましては、平成31年度</p>

社会教育の重点事項を抜粋して記載させていただいています。だから、1年ほど前の内容をそのまま抜粋しておるということで、社会教育全般のことを載せさせていただいています。公民館活動以外の掲載もあるので、御留意ください。

9ページを御覧ください。

先ほど決算の説明のときにも触れました、生涯学習事業についてですが、概要としましては、まず生涯学習事業とは何かというと、社会教育法第20条で地域づくりの拠点として、公民館にて交流活動及び学習活動を提供することにより学習成果が実生活に生かせ、地域社会がさらに発展するような支援をするための役割を果たしているというのが目的となっています。その意味で、各種事業を展開させていただいているということです。

1つ目、9ページに書かせていただいているのが、居場所づくりとしてのテーマとして、子育て中であつたり、一般男女共同参画がありまして、こちらのほうの詳細については活動報告の12ページから14ページで掲載させていただいています。

2つ目、10ページなんですけど、こちらのほうは、地域活動支援養成として保育ボランティア、公民館サポーターの養成がありまして、こちらの内容につきましては、20ページから28ページに記載させていただいています。

3つ目は、11ページに書かせていただいている内容になるんですが、地域の仲間づくりとしての内容をこちらのほうに書かせていただいています。こちらにつきましては、心のゆとりであつたり、先ほども言っていますけど、公民館でどんな事業をやるかということで、例えば子どもたちのリコーダー教室。これは、従来年間に20回くらいやっていたりとか、コーラスとかいうふうな内容を、各公民館でこういうふうな記載している内容をさせていただいているということです。

また、その後なんですけども、公民館活動と文化の内容になっているのです。多種多様になるんで、音楽であつたり自然観察であつたりとか、施設内だけでなく施設外にも市民の多種多様な要望に応えるような事業展開をやっているというのが、この公民館活動の生涯学習事業というのになっております。

詳細については、先ほど言っているように、細かく書いているのは後ろのほうのページになっております。

飛びまして44ページを御覧ください。こちらのほうは、公民館の施設の概要を記載させていただいています。また次の45ページ、46ページについては、こちらについては、公民館の利用状況について記載させていただいているということです。

簡単ではありますが、概略としての説明とさせていただきます。

説明は終わりました。ただいまの件について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。

美濃教育長

和田委員

教えていただきたいのですが、まっc o mという組織について、もう少し詳しく教えていただけませんか。

手束市民協働部副理事	<p>まっc o mなんですけども、まっc o mは、松原のまつで、c o mのc o mはコミュニティ。oというのは応援する。mがメンバーという内容で、そういう趣旨でやっています。</p>
北野市民協働部次長	<p>まっc o mというのは、仕事や趣味で培ってこられた様々な知識、技術、経験を生かして、ボランティアとして松原市民の生涯学習を支援する制度で、学校やP T A、講座、地域活動など、利用を希望する団体への支援、指導者として登録して有償ボランティアとして派遣しておる事業になっております。</p>
和田委員	<p>分かりました。</p>
有馬委員	<p>見ていると、新型コロナウイルスのための中止というのがやはり目に入ってくるんですけども、そうなると、今年度はもっと多くなると思うんです。そうなった場合、今後コロナウイルスだからできないじゃなくて、それに代わるような媒体、例えばZ o o mでやったりとか、そういうこととかは考えたりとかしているのでしょうか。</p>
手束市民協働部副理事	<p>8月の定例教育委員会のときにもお話させていただいてるかと思うんですけど、人数を減らすとか対策しながら事業展開をしています。</p> <p>こちらのほうにつきましては、図書館を休館して、事業を打てないという時期が、3月下旬から今年の4月、5月の中旬まででした。公民館も閉めていましたので、その期間は事業を実施できていないということがあって、事業実施については人数制限をかけながら、人数は減りますけれども、何らかの形で今年も実施しているという状況です。</p> <p>以上です。</p>
美濃教育長	<p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>また何かありましたら、別の機会にお願いします。</p> <p>続きまして、その他案件、「河合小学校への落雷事案について」の説明をお願いします。</p>
田中教育総務課長	<p>先月、8月22日に河合小学校で起こりました落雷の事案について御報告させていただきます。</p> <p>8月22日の4時頃、落雷が発生しまして、落雷により一時停電と、パソコンが一旦止まりました。そちらのほうは、当日すぐに復旧しましたので使えるようになったんですけども、翌日に、学校の管理職が出勤しまして確認しましたところ、校舎の屋上部分で、塔屋、少し上がっている煙突みたいになったところなんですけれども、塔屋の部分の2か所が破損していたところと、その破損した部分が屋根であるとかに飛んでいましたんで、児童生徒が近寄らないようにコーン等で立入禁止の状態にさせていただきました。</p> <p>その翌日、月曜日に教育総務課の担当の職員と、学校の管理職のほうで、確認させていただきましたところ、付近の壁等にもクラックが入っていて、落雷したのではないかと。それがテレビのアンテナに伝わったのではないかと。</p>

かというところになっていまして、推測の域にはなってしまうんですけども、そこから行ったのではないかというところになっています。

河合小学校については、避雷針が立っていましたので、そこに落ちずに、そちらに落ちてしまったというところになっていました。

あと、それともう一点、プールにつきましても、プールに下りるはしごがあるのですけれども、そちらの付近で2か所穴が空いていたというところと、そのほかにもう一か所ありまして、3か所穴が空いておりまして、こちら中を見ていると落雷ではないか、老朽化というところも否めないんですけども、落雷ではないかということで、その後、本市建築住宅課の職員と一緒に見に行かせていただきまして、その後、プールにつきましても、既に修繕をさせていただいております。

校舎のほうにつきましても、現在、修繕作業をさせていただいております。復旧のほうに入らせていただこうと思っております。

説明につきましては、簡単になりますけど以上になります。

美濃教育長

ありがとうございます。ただいまの件について、何か御質問等ございませんでしょうか。

田中委員

避雷針はあったんですね。

田中教育総務課長

はい。ありました。

田中委員

しかし、そこに落ちずにほかのところに落ちてしまった。

田中教育総務課長

はい。

田中委員

怖いですね。逆に言うと。

有馬委員

土曜日だったということで、けが人がいなくてよかったということが第一です。

雷つながりで、昨日のことについてお話させてもらいたいのですが、雷が下校時間と重なってしまい、学校で待機だろうなというのが薄々分かっていたんですけども、小学校からは待機していますと、配信メールと、ホームページでお知らせがあったんですけど、中学校からは配信メールとかそういうお知らせがなかったもので、そのばらつきというのが気になりました。中学校なので下校時間が違ったからかもしれないですけど、そういう点では統一してほしいなという思いがありました。

そういう判断は、やっぱり学校の学校長の判断になるのですか。

横田学校教育部長

保護者メールを配信しましたら、教育委員会のほうで全てそれが確認できますので、昨日、リアルタイムで配信している学校、していない学校を確認させてもらっていました。

五中の場合、確認しましたら、昨日はほとんどの生徒が落雷が始まる前に下校していたということです。ごく一部の生徒が残っていたということでした。

たので、もしかしたら有馬委員のお子様が、何らかの理由で残っていて、そこへ一斉メールがなくて、個別の連絡をされたということだと思います。

ただ、もしかしたら有馬委員のほうには直接連絡が行っていないのであれば、そういう個別の連絡についても徹底するように伝えなければならないと思います。申し訳ありませんでした。

有馬委員

これから、またないことに越したことはないんですけども、やっぱり今日もありますし、これから9月で台風シーズンなので、どうしても夕方とか放課後にある場合もあるので、親もですけども、子どもたちにもそういう注意喚起をもう一度お願いしたいと思います。よろしくお願いします。

美濃教育長

ありがとうございます。ほかに何かございますか。

よろしいですか。

それでは、何もないようでございますので、以上をもちまして、9月定例教育委員会を終わります。皆様、本日はどうもありがとうございました。

(閉会宣言午後4時41分)

署 名 教育長 美濃 亮

委 員 栗崎 節子